

平成 30 年度 第 7 回 理事会 抄録

日 時 : 平成 30 年 10 月 6 日 (土) 13:30 ~ 16:30
場 所 : TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター
出 席 : 理 事 : 半田、斉藤、森本
 網本、伊藤、植松、梶村白石、大工谷、高橋 (哲)、高橋 (仁)
 田中、谷口、知脇、中川、中前、藤澤、松井、山根、吉井
 監 事 : 太田、長澤、辺土名
欠席者 理 事 : 内山、黒澤
 監 事 : なし

I. 審議事項

(全 7 題)

1. 第 54 回日本理学療法学会研修大会以降 担当士会への委託契約内容について (植松常務理事)	一部承認
<p>第 53 回日本理学療法学会研修大会茨城大会より、学会運営者への委託ではなく、担当士会へ委託契約のもと運用した。士会事務局機能の活性化ならびに、継続的な学術研修大会を運用していくため、士会にとっても様々な面で最終的な負担のないような委託形式にしていくことが望ましいと考え、第 54 回大会以降の士会委託契約内容について審議がなされた。</p> <p>委託費で損失が出た場合は協会が負担し、利益が出た場合は担当士会に分配することが承認された。しかし、損失が出た場合の詳細な計算方法については再審議となった。</p>	
2. 第 54 回日本理学療法学会研修大会 (徳島) の収支予算案について (植松常務理事、鷺大会長)	承認
<p>第 54 回日本理学療法学会研修大会 (徳島) について、委託契約に向けた収支予算案が提出され、承認された。</p>	

3. 各種規程の改定案について	(森本副会長)	一部承認																
<p>各規定について、以下の通り提案がなされ、定款細則、賛助会員申込書、組織規則、分掌規程、会計規程は承認された。賛助会員規程については、「第 5 条：賛助会員との契約事業」を保留とし、それ以外は一部文言の修正を含めて承認された。</p> <p><賛助会員制度変更に伴う規程改定></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">規程</th> <th>変更点 (概要)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定款細則</td> <td>・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃</td> </tr> <tr> <td>賛助会員規程</td> <td>・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃 ・ 本会主催の学会、研修会での機器展示を変更 ・ 理学療法学の広告掲載料金を変更</td> </tr> <tr> <td>賛助会員申込書</td> <td>・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃</td> </tr> </tbody> </table> <p><その他規程改定></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">規程</th> <th>変更点 (概要)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織規則</td> <td>・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加</td> </tr> <tr> <td>分掌規程</td> <td>・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加</td> </tr> <tr> <td>会計規程</td> <td>・ 減価償却について、決算報告の方法を合わせる。 (間接法→直接法) ・ 未納退会者の貸倒損失について、現行の処理を規程に追加</td> </tr> </tbody> </table>			規程	変更点 (概要)	定款細則	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃	賛助会員規程	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃 ・ 本会主催の学会、研修会での機器展示を変更 ・ 理学療法学の広告掲載料金を変更	賛助会員申込書	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃	規程	変更点 (概要)	組織規則	・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加	分掌規程	・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加	会計規程	・ 減価償却について、決算報告の方法を合わせる。 (間接法→直接法) ・ 未納退会者の貸倒損失について、現行の処理を規程に追加
規程	変更点 (概要)																	
定款細則	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃																	
賛助会員規程	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃 ・ 本会主催の学会、研修会での機器展示を変更 ・ 理学療法学の広告掲載料金を変更																	
賛助会員申込書	・ 賛助会員 A、B、C の区分を撤廃																	
規程	変更点 (概要)																	
組織規則	・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加																	
分掌規程	・ 「指定規則等検証委員会」新設のため、委員会を追加																	
会計規程	・ 減価償却について、決算報告の方法を合わせる。 (間接法→直接法) ・ 未納退会者の貸倒損失について、現行の処理を規程に追加																	

4. 会長が委員長を務める諮問委員会の取扱いについて	(半田)	承認															
<p>会長が委員長を務める諮問委員会について、組織規則第 13 条に則り、諮問委員会から将来構想戦略会議に位置づけることが承認された。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 35%; text-align: center;">諮問委員会</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 55%; text-align: center;">将来構想戦略会議</td> </tr> <tr> <td>WCPT 招致特別 (諮問) 委員会</td> <td></td> <td>WCPT 招致特別委員会</td> </tr> <tr> <td>会館建設執行委員会</td> <td></td> <td>会館建設執行委員会</td> </tr> <tr> <td>マスタープラン作成検討委員会</td> <td></td> <td>マスタープラン作成検討委員会</td> </tr> <tr> <td>拡大生涯学習システム検討委員会</td> <td></td> <td>拡大生涯学習システム検討委員会</td> </tr> </table>			諮問委員会	→	将来構想戦略会議	WCPT 招致特別 (諮問) 委員会		WCPT 招致特別委員会	会館建設執行委員会		会館建設執行委員会	マスタープラン作成検討委員会		マスタープラン作成検討委員会	拡大生涯学習システム検討委員会		拡大生涯学習システム検討委員会
諮問委員会	→	将来構想戦略会議															
WCPT 招致特別 (諮問) 委員会		WCPT 招致特別委員会															
会館建設執行委員会		会館建設執行委員会															
マスタープラン作成検討委員会		マスタープラン作成検討委員会															
拡大生涯学習システム検討委員会		拡大生涯学習システム検討委員会															

5. 平成 30 年度台風並びに地震被害に対する年会費免除等について	(半田会長)	承認
<p>平成 30 年度発生した台風 (12 号、13 号、20 号、21 号、24 号) 並びに平成 30 年北海道胆振東部地震について、本会が定める大規模災害として承認され、「会費減免・見舞金等の支給に関する規定」に則り、被災された会員については、見舞金ならびに会費の免除を行うこととなった。</p>		

6. コア・カリキュラム案の承認について	(網本常務理事)	一部承認
<p>学会コア・カリキュラム委員会では下記の手順を踏んで、理学療法モデルコア・カリキュラム案を作成した。については、パブリックコメントが終了し、その内容を踏まえた最終案が提示され、方向性については承認された。</p> <p>また、一部文言修正を行い、最終的に理事の合意をもって決定することが確認された。</p> <p>検討スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 常任理事会報告 (4/7) 2 運営審議会にて内容説明・協議 (4/22) 3 分科学会・部門意見聴取 (5 月) 4 理事懇談会にて協議 (7/14) 5 パブコメ募集 (8 月 1 日～24 日) 6 コア・カリキュラム委員会にて、パブコメの対応検討 7 最終案を学会審議会にて承認 (9/15) 8 理事会審議 (10/6) 		
7. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 10 月 1 日の間、新たに申請をした正会員 2,289 名の入会について承認された。</p> <p>なお、復会者 78 名、休会者 136 名、退会者 116 名、未納退会取消者者 75 名、賛助会員入会 1 社であったことが合わせて報告された。</p>		
8. 平成 31 年度重点目標について	(半田会長)	承認
<p>平成 31 年度の重点目標について、以下の通り提案がなされ、「7」に国際化に関するものを追加する。「予防理学療法の市場化」について、「市場化」ではなく適切な文言に修正することで、承認された。</p> <p>【平成 31 年度重点課題 (案)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士業務の「核」の設定 2. 予防理学療法の市場化 (3 年) 3. 生涯学習システムへの推進及び協力体制の構築 4. 2020 年診療報酬改定、及び 2021 年介護報酬改定への課題整理と対応 5. 理学療法士の働き方及び処遇への取り組み (3 年) 6. 効率的な協会執行体制、及び士会との役割分担の検討 		

9. 臨床実習指導者講習会開催計画について	(半田会長)	承認
<p>指定規則改正に伴い、臨床実習において学生を指導する場合、厚労省が承認する講習会の受講が義務化される。これに伴い、協会において講習会を今年度から「4.教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資する事業、1) 教育に資する事業」の一つとして実施するため、2019 年度事業計画・予算案に「臨床実習指導者講習会開催計画」を盛り込むことが提案され、審議がなされた。</p> <p>今回の理事会における意見と組織運営協議会での意見を踏まえ、最終的な考え方や方向性を決定することが承認された。</p>		
10. 総会への会員除名の発議について	(半田会長)	承認
<p>本会会員が起こした不祥事案件について、平成 30 年 9 月 22 日に開催された懲戒委員会の答申に基づき、次回定時総会へ会員除名の承認を求める発議（該当者 1 名）を行うか否かについて審議がなされ、原案通り発議を行うことが承認された。</p>		

Ⅱ. 報告事項

(全 15 題)

1. 平成 30 年度 第 2 四半期職務執行状況報告

(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長、
網本常務理事、植松常務理事、梶村常務理事
黒澤常務理事、高橋(哲)常務理事、吉井常務理事)

平成 30 年度 第 2 四半期職務執行状況について報告された。

2. 第 53 回日本理学療法学会研修大会(茨城)大会報告・監査報告

(植松常務理事、太田監事、長澤監事、辺土名監事)

2018 年 5 月に開催された第 53 回学会研修大会(茨城)について、2018 年 9 月 24 日に監査を終了したことが報告された。

3. 次期包括的会員管理システム構築について

(半田会長)

次期包括的会員管理システム構築の入札結果について報告がなされた。

- ・ 2018 年 6 月 27 日(水)から入札公示。
システム構築に関わる説明会や質疑応答を経て最終的に「3 社」から入札希望の連絡を受けた。
- ・ 同年 9 月 1 日(土)に入札会議を開催。
入札希望連絡のあった業者 3 社がプレゼンを実施。
次期システム構築執行委員会にて構築業者を決定した。

■決定事業者：株式会社エスキュービズム

4. 第 56 回学会研修大会公募の遅延について

(植松常務理事)

第 56 回日本理学療法学会研修大会の公募について、日本理学療法学会研修大会規程第 2 条 1 項より開催 3 年前の 7 月末までに公募締め切りとしているが、2018 年 5 月に開催された第 53 回大会の考察等を加味した公募要件を提示する関係上、今回に限り 2018 年 12 月上旬を公募期日とし、2018 年 10 月より募集を開始することが報告された。

5. 常任理事会 会議報告 (7 月 14 日)

(森本副会長)

常任理事会の結果等について以下の報告がなされた。

○第 2 回 常任理事会

協議事項：

1. 賛助会員制度の取り扱いについて
2. 業務執行体制の強化について 専務理事の役割の明確化と執行に関する報告上の提案
3. 各種会議議事録の公開について
4. 出版物販売事業について
5. 2019 年度 事業計画・予算案作成スケジュールについて
6. 平成 30 年度学会運営協議会について
7. 2019 年 5 月理事会および 2019 年度定時総会開催日・場所の変更について
8. 年会費未納による退会の手続きについて
9. 運動器の健康・日本協会（前運動器の 10 年・日本協会）の年会費について
10. 第一興商と協会との提携について
11. 臨床実習中の学生自殺に関する判決への本会の対応について
12. 部門研修会の外部委託について
13. シンガポール事業の継続への対応について
14. 内山副会長から追加議題提出予定
15. WCPT 表彰に対する候補者の推薦について
16. 本年度国際案件に係る役員対応予定について
17. アジア理学療法フォーラムの今後の方向性について
18. リウマチ財団 登録理学療法士・作業療法士制度（仮称）について

結果：1～18 について協議された。

報告事項：

1. アフガニスタン理学療法士協会からの公式依頼への対応について
2. モンゴル理学療法士学会の出張報告
3. IOC（国際オリンピック委員会）の理学療法部門責任者の来日対応について
4. 理学療法士による介護予防を印象付けるための住民主体型介護予防システムの全国普及推進事業の現状について
5. 大学院博士課程設置要望書について
6. 資金繰り

結果：1～6 について報告された。

6. 常任理事会 会議報告 (8 月 4 日)

(森本副会長)

常任理事会の結果等について以下の報告がなされた。

○第 5 回 常任理事会

協議事項：

1. 平成 30 年度新設委員会の追加事業について
2. 共同研究依頼の対応について
3. 第二回アジア理学療法フォーラムのプログラム案について
4. 事務局長会議の議題について
5. 常勤役員の決定手順について
6. 会長に事故あるときについて
7. 常勤役員の見舞金額の変更について
8. 平成 31 年度人事案について
9. 平成 31 年度の大規模臨床研究助成にレジストリを加えることについて

結果：1～9 について協議された。

報告事項：

1. シンガポール NUH HAPPY プロジェクト関係者との面談報告
2. 2020 東京五輪・パラリンピック推薦要件について
3. 運動器の健康・日本協会 平成 30 年度 第 3 回理事会報告
4. 資金繰り

結果：1～4 について報告された。

7. 常任理事会 会議報告 (9 月 1 日)

(森本副会長)

常任理事会の結果等について以下の報告がなされた。

○第 6 回 常任理事会

協議事項：

1. 今年度実施の協会選挙の告示及び実施要綱について
2. マスタープランについて
3. 第 19 回 WCPT 総会について
4. 団体取扱保険の新規保険導入について
5. 会長が務める諮問委員会の取り扱いについて
6. 平成 30 年度組織運営協議会の協議内容について
7. 臨床実習中の学生自殺に関する判決への本会の対応について
8. 臨床実習教育の手引きの出版の方向性について
9. 理学療法概論の方向性と概要について
10. 理学療法白書 2018 年度版の企画案・出版について
11. 産業理学療法部門の書籍出版ならびに今後の対応について
12. 学会版 MMT&ROM 評価委指針の公開について
13. 組織体制に関する意見交換

結果：1～13 について協議された。

報告事項：

1. 都道府県士会からの要望書の回答一覧について
2. 「インドネシア理学療法協会 50 周年大会」について
3. WCPT 定款変更に関する意見について
4. 平成 30 年飯田賞選考結果について
5. 資金繰り

結果：1～5 について報告された。

8. 業務執行理事会 会議報告 (8 月 4 日)

(森本副会長)

業務執行理事会の結果等について以下のとおり報告がなされた。

○第 1 回 業務執行理事会

協議事項：

1. 平成 30 年度事業の活動計画について

結果：1 について協議された。

9.平成 29 年度 障がい者団体助成事業報告書の提出と公開について

(森本副会長)

平成 29 年度障がい者団体助成事業の事業報告書がすべての団体から提出されたため、これらを取りまとめ報告がなされた。

<助成団体>

- ・ 公益社団法人 日本オストミー協会
- ・ ひよこの会
- ・ 公益社団法人 銀鈴会
- ・ ブーケ（若い女性オストメイトの会）
- ・ NPO 法人日本身障運転者支援機構

10. 団体取扱保険の新規保険導入について

(森本副会長)

損害保険ジャパン日本興亜（株）が販売する「親子のちから（親介護費用補償特約セット団体総合保険）」について、会員の福利厚生制度充実のため、本会の新たな団体取扱保険として導入することが報告された。

- ・ 保険名称：親子のちから（親介護費用補償特約セット団体総合保険）
- ・ 保険会社：損害保険ジャパン日本興亜（株）
- ・ 対象者：在会会員のみ
 - * 現在運用中の団体取扱保険については、休会者も対象となっているが、次年度以降は在会者のみを対象へ調整中
- ・ 導入時期：2019 年 4 月 1 日開始
- ・ 費用負担：調整中（* 現行は集金代行業者への手数料）
- ・ その他：本保険は団体取扱のみ（個人加入不可）

11. 2020 東京オリンピック・パラリンピック支援時の保険に関する件

(梶村常務理事)

2020 東京オリンピック・パラリンピック支援時の保険について、約 7 億円の保険に加入できるよう、業者との交渉に入っていることが報告された。

なお、賠償期間は 2019・2020 年であり、対象者は 2020 東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会の公募にマッチングした会員のみである。

12. WCPT2019 総会に関連する種々の報告について

(半田会長)

WCPT2019 総会に関連する以下の件について報告された。

1. Emma 会長立候補支持
2. WCPT-AWP (WCPT-アジア西太平洋地域) 地域理事選挙
3. WCPT 定款変更
4. WCPT 教育ガイドラインレビューの意見収集
5. WCPT2019 への本会からの議題提出

13. 運営幹事・委員等の任命・退任について

(網本常務理事)

日本理学療法士学会に属する分科学会・部門および委員会において、運営幹事・委員等の任命・退任について、学会運営審議会で承認されたことが報告された。

14. 学術大会の事業計画の承認について

(網本常務理事)

学術大会の事業計画が、以下の通り学会運営審議会で承認されたことが報告された。

【2019 年度開催】

- ・ 第 6 回日本予防理学用法学会学術大会 (10/19～20、広島)
- ・ 第 6 回日本小児理学療法学会学術大会 (11/16～17、福岡)
- ・ 第 6 回日本地域理学療法学会学術大会 (12/14～15、京都)

【2020 年度開催】

- ・ 日本地域・支援工学・教育合同理学療法学術大会 2020 (11/7～8、埼玉)

15. 平成 30 年度 理学療法にかかわる研究助成の審査結果について

(網本常務理事)

平成 30 年度 理学療法にかかわる研究助成の審査結果について、以下の通り報告された。

【公募期間】平成 29 年 3 月 15 日(木)～4 月 23 日(月)13 時 (電子メール必着)

【申請件数】A 指定研究助成 61 件
B 一般研究助成 41 件 合計 102 件

【採択結果】A 指定研究助成 10 件 700 万円
B 一般研究助成 6 件 300 万円

平成 30 年度助成金額総合計 1000 万円

16. 認定理学療法士の症例報告審査の審査指標と基準の公開について

(植松常務理事)

認定理学療法士の症例報告審査の審査指標と基準について、2017 年度の認定理学療法士申請の不合格者から症例報告の審査基準に関する問い合わせが多く寄せられたため、ホームページに公開することが報告された。

なお、症例報告の審査員による審査結果の偏りの是正については、引き続き生涯学習課内および分科学会、部門にも協力をいただき、検討を続ける。

17. 新会館建設の状況報告について

(半田会長)

今年 6 月に開催された定時総会にて、本会新会館の建設状況と基本設計図案を提示したが、基本設計最終図ならびにその後の状況について報告がなされた。

以上